

事業名	介護保険制度趣旨普及事業				会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり			主管課長	早川 仁			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護保険被保険者	意図	介護保険制度の趣旨と仕組みについて理解していただく
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットの作成、配布 (配布場所：介護支援課窓口、包括支援センター、出張所等)</li> <li>小冊子の配布（65歳到達時、保険証送付時に同封）</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	制度施行以来、制度改正に対応しながら毎年作成し、配布している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	パンフレット購入数	3,000	3,500	5,000	冊	→→
②	小冊子購入		8,400		冊	→→	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 介護保険制度改正に伴い、内容を見直し作成している。
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		573,530	976,925	806,900	介護支援課窓口、包括支援センター（4箇所）、市民課出張所等で配布し、趣旨普及につとめている。		
事業費(b)(円)		456,750	857,325	619,500			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		116,780	119,600	187,400			
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	平成23年度末作成のパンフレットに具体的に掲載できなかった、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を掲載する。	③取り組みの課題	より広く、わかりやすく趣旨を普及させる必要がある。
②今年度(H24)に実施した取り組み	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の説明を掲載したパンフレットを作成した。	④今後の改善計画	健康福祉部で作成した高齢者のためのポータルサイトを活用し、介護保険のサービス内容、介護支援サポーター事業、介護保険料などについて、わかりやすくお知らせする。